**職務経歴書**

2025年4月1日現在

佐藤 翔太

**■職務要約**

　私は、製造業にて10年間勤務し、生産管理部門と品質保証部門の2つの部署でキャリアを積んでまいりました。
　工程管理や納期調整といった日々の業務に加え、品質向上のための現場改善にも注力し、現場の信頼を得ながら改善提案やトラブル対応にも取り組んでまいりました。
　残念ながら、経営合理化による人員削減のため退職となりましたが、10年間で培った現場視点と部門連携力には自信があります。
　今後はこの経験を活かし、安定した環境で中長期的に貢献していきたいと考えております。

**■職務経歴**

株式会社セイコー機械（2014年4月〜2024年3月）

【業種】産業用機械メーカー／【従業員数】約900名／【雇用形態】正社員

|  |  |
| --- | --- |
| 生産管理部（2014年4月〜2019年9月） | 【業務内容】・生産計画の立案、資材手配、納期調整・製造部門・営業部門との連携による進捗管理・在庫管理システムの運用補助【工夫・成果】・繁忙期の欠品対応を効率化する仕組みを提案し、在庫トラブルを30％削減。 |
| 品質保証部（2019年10月〜2024年3月） | 【業務内容】・製品出荷前の検査、工程内不良の原因調査・顧客対応窓口として不具合報告書の作成・ISO9001に基づく内部監査対応【工夫・成果】・現場との連携体制を強化し、重大クレーム件数を前年比で半減。 |

【退職理由】会社の経営合理化に伴う人員整理の対象となり、会社都合で退職。

**■活かせる経験・スキル**

・10年間同一企業で2部門にわたる経験（生産管理・品質保証）
・社内外との調整力・工程全体を俯瞰したスケジューリング力
・トラブル対応・改善提案の経験（実績あり）
・ISO対応、QC的な視点での業務改善

**■自己PR**

　私は、生産管理から品質保証まで、モノづくりの現場全体を理解した上で、部門をまたぐ連携と改善提案を実行してきました。
　特に品質保証部では、現場との信頼関係を築き、課題を共有して解決につなげるスタイルを高く評価されました。
　会社都合での退職となりましたが、これまでの経験は中長期的な視点で現場に貢献する力として活かせると確信しています。
　今後は、安定した環境の中で腰を据えて、改善活動と品質向上に取り組んでいきたいと考えております。

参考

会社都合退職者が職務経歴書で意識すべき5つのポイント

**①「会社都合退職」であることは、はっきりと書く**

自分の意思で辞めたわけではない場合は、「経営合理化」「業績悪化」などの理由とあわせて、会社都合退職であることを明記しましょう。伏せて書くと短期離職と同じ扱いになり、不利になります。冷静かつ簡潔に伝えることがポイントです。

**② 長く勤めたこと自体が“信頼の証”になる**

1社で長年勤めた実績は、近年では希少であり、それだけで「真面目に長く働く人物」として評価されます。早期離職が多い時代において、長期勤務の実績は大きな強みです。

**③ 異動・部署経験は“柔軟性”として活かす**

複数部署を経験している場合は「業務の幅広さ」「変化への適応力」「横断的な視点」があることを伝えるチャンスです。単なる異動ではなく、そこから何を得たか、どんな成果を出したかを添えて書きましょう。

**④ 退職前の“成果や工夫”を丁寧に書く**

退職したという事実よりも、それまでにどんな働きをしていたかの方が重要です。数字や具体例を交えて、評価された業務や工夫した点をしっかり記載しましょう。

**⑤ 今後の働き方への姿勢を明確に伝える**

「もう辞めた人」という印象で終わらせず、「これからどう働きたいか」に焦点を当てることが大切です。安定志向・成長意欲・定着志向を明示することで、前向きな印象を与えることができます。